

第2期

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(案)

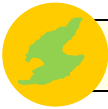


令和〇年〇月



基本コンセプト

『子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと輝ける島』
をコンセプトに
人口減少対策と地方創生の実現を目指します



長期的目標



佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（改訂版）より



短期的目標

市内総生産

172,380 百万円（H30） → 現状維持（R8）

はじめに

第1章 第2期佐渡市総合戦略の策定にあたって

1. 国のまち・ひと・しごと創生総合戦略との関係	1
2. 基本的な考え方	2
3. 佐渡市総合計画と佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係	3
4. 計画期間	3
5. 策定プロセス及び進行管理	4

第2章 佐渡市の現状と将来の方向性

1. 第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標	5
2. 佐渡市の現状	6
3. 人口の将来展望	8
4. 今後の目指すべき将来の方向性	9

第3章 第2期計画における佐渡市の戦略

1. 基本方針	12
2. 施策体系	12
3. 基本目標	13
基本目標1 【しごと】 地域の特色、地域資源を活かした産業の振興	
基本目標2 【新しいひとの流れ】 関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる	
基本目標3 【結婚・出産・子育て】 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	
基本目標4 【まちづくり】 ひとが集い・賑わい・安心して暮らせる持続可能なまちづくり	

第1章

はじめに

第2期佐渡市総合戦略の策定にあたって

1

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

国では、急速な人口減少・少子高齢化に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的として、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定するとともに、2060年に1億人程度の人口を維持するなどの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、まち・ひと・しごと創生法に基づく5か年の目標や施策の基本方針等をまとめた第1期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

国においては、第1期「総合戦略」の成果と課題を検証し、令和元年12月に第2期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。第2期「総合戦略」においては、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指すため、第1期の成果と課題を踏まえて、第1期「総合戦略」の政策体系を見直し、4つの基本目標と2つの横断的な目標の下に取り組むこととしています。

【第2期における施策の方向性】

基本目標1：稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

- ・地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
- ・安心して働ける環境の実現

基本目標2：地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

- ・地方への移住・定着の推進
- ・地方とのつながりの構築

基本目標3：結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・結婚・出産・子育てしやすい環境の整備

基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- ・活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

横断的な目標1：多様な人材の活躍を推進する

- ・地域における Society5.0 の推進
- ・地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり

横断的な目標2：新しい時代の流れを力にする

- ・多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
- ・誰もが活躍する地域社会の推進

「まち・ひと・しごと・創生法」第10条では、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するよう努めなければならないこととされており、地方創生の充実・強化に向けて、切れ目ない取組を進めることが求められています。

本市においても、平成27年に「～歴史と文化が薫り 自然と人が共生できる美しい島づくり～佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策、地方創生の実現を目指してきました。この、第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証をもとに、これまでの総合戦略における4つの基本目標の枠組みを維持するとともに、より一層の充実・強化を図るため、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする第2期計画を策定します。

2

基本的な考え方

第2期「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策5原則、4つの基本目標などを踏まえるとともに、以下の3つの考え方に基づき策定します。

①佐渡市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」に基づく戦略

人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を勘案し、本市における人口の分析を行い、人口問題に関する市民との認識の共有を目指すとともに、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示しています。この人口ビジョンの分析に基づいた政策を展開します。

②地域の特色や地域資源を活用した戦略

佐渡は二列の山地が南北に並び、中央に穀倉地帯の国中平野を挟み北と南では独特な地形が残されています。豊かで美しい自然環境に恵まれ、佐渡沖では暖流と寒流が交わる影響で、植物は寒暖両系の植生がみられ四季の変化に富んでいます。また、佐渡の文化は、流入たちがもたらした貴族文化、金山の発展による江戸からの武家文化、商人、船乗りが運んだ町人文化の三つの文化が渾然一体となって独自の文化を育んでいます。さらには、産業では米づくりを中心としており、柿などの果樹栽培なども盛んです。観光資源としては、トキ・金銀山・佐渡おけさ・鬼太鼓・能などがあり、国内外より多くの観光客が訪れています。

これらの地域の特色や地域資源を最大限に活かし、住民に身近な施策を幅広く盛り込んだ施策を展開します。

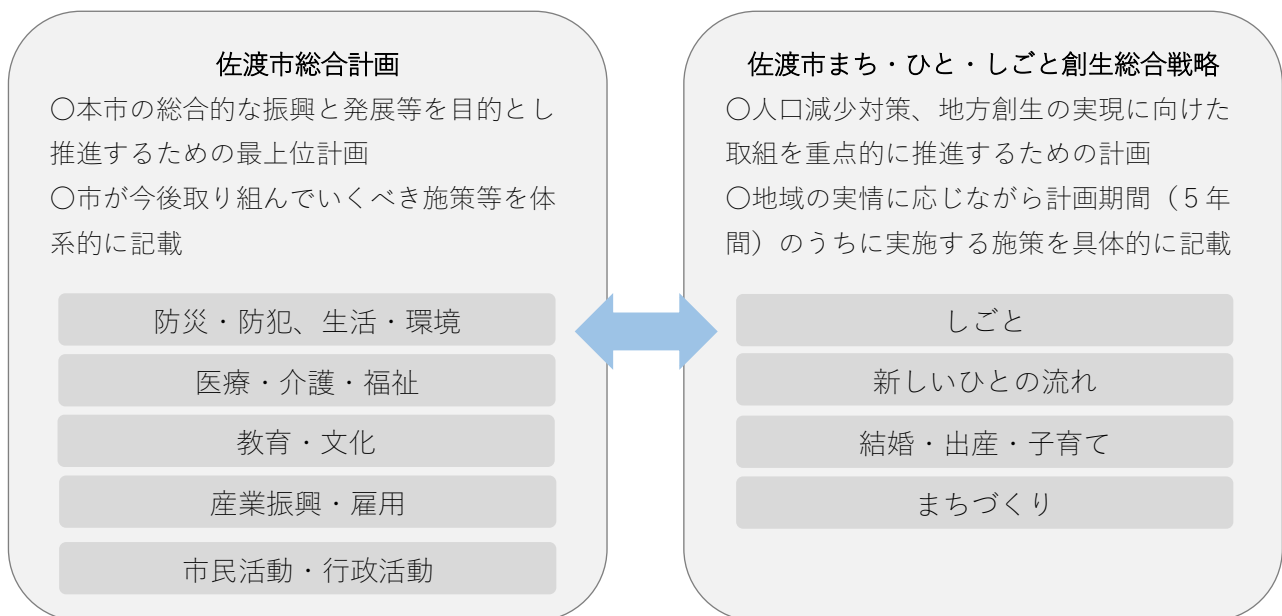
③連携による戦略

施策を効果的・効率的に推進していくためには、住民、関係団体、企業等と連携し協力していくことが重要です。幅広い層の住民をはじめ、多様な主体の参画を得るなど、地域の特性に応じた検討プロセスを経るとともに、経済圏における取組なども視野に入れ、行政区域を超えた広域的な連携となるよう施策を展開します。

3

佐渡市総合計画と佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口減少克服・地方創生を目的として、本市の特色や地域資源を最大限に活かした地方創生の取組を積極的・戦略的に進めるため、最上位計画である「佐渡市総合計画」との整合性を図り、一体的な取組となるよう進めていきます。



4

計画期間

計画期間は、令和４年度から令和８年度の５年間とします。

①推進組織

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略を効果的・効率的に推進していくためには、幅広い層からなる住民をはじめ、産官学金労言（産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア）等の参画・協力が必要です。そのため、産官学金労等で構成する「さど未来創造・戦略推進会議」において、意見を求め計画に反映し策定します。

②数値目標・重要業績評価指標（KPI）の設定

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略には、盛り込む政策分野ごとに目標年次（5年後）の基本目標を設定するほか、各政策分野の下に盛り込む具体的な施策に対して、客観的な重要業績指標（KPI）を設定します。この目標及び指標は、原則、行政活動そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として住民にもたらされる便益（アウトカム）に関する数値目標を設定しています。

③PDCAサイクルによる効果検証

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を推進するに当たっては、KPIの進捗状況を確認するとともに、「さど未来創造・戦略推進会議」や議会等で検証を実施し、定期的、多角的な評価を行い、評価結果を踏まえて、KPIの修正等の必要な見直しを行っています。

第2章

佐渡市の現状と将来の方向性

1

第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

第1期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、国の示す取り組むべき政策分野と基本目標は下記のように設定し、各種施策を展開してきました。

①国の政策分野：雇用創出

基本目標1

島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。

②国の政策分野：新しい人の流れ

基本目標2

世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する。

③国の政策分野：結婚・出産・子育て

基本目標3

生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。

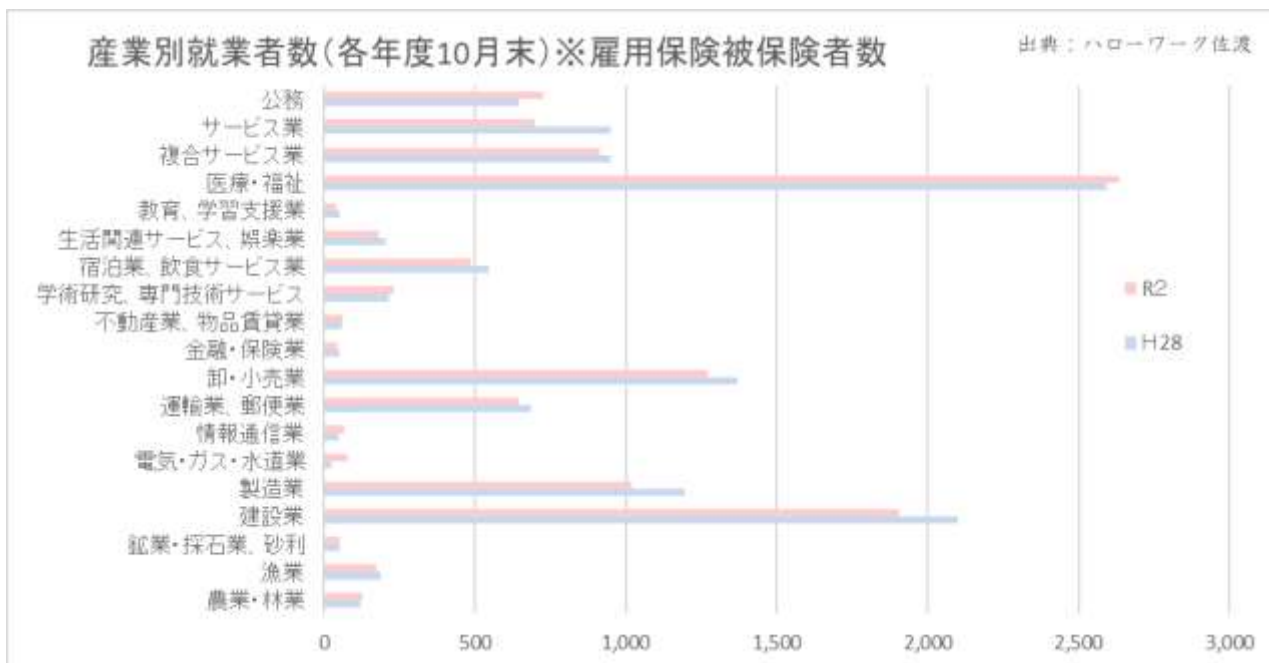
④国の政策分野：地域づくり・暮らしづくり

基本目標4

特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する。

佐渡市の現状は以下のようになっています。

①雇用の状況（産業分野別就業者の推移）



②出生数・出生率の状況

出生数は10年間で約4割減少しており、合計特殊出生率は、国・県と比較して高い数値で推移しているものの、平成29年以降は減少傾向となっています。



③人口移動の状況

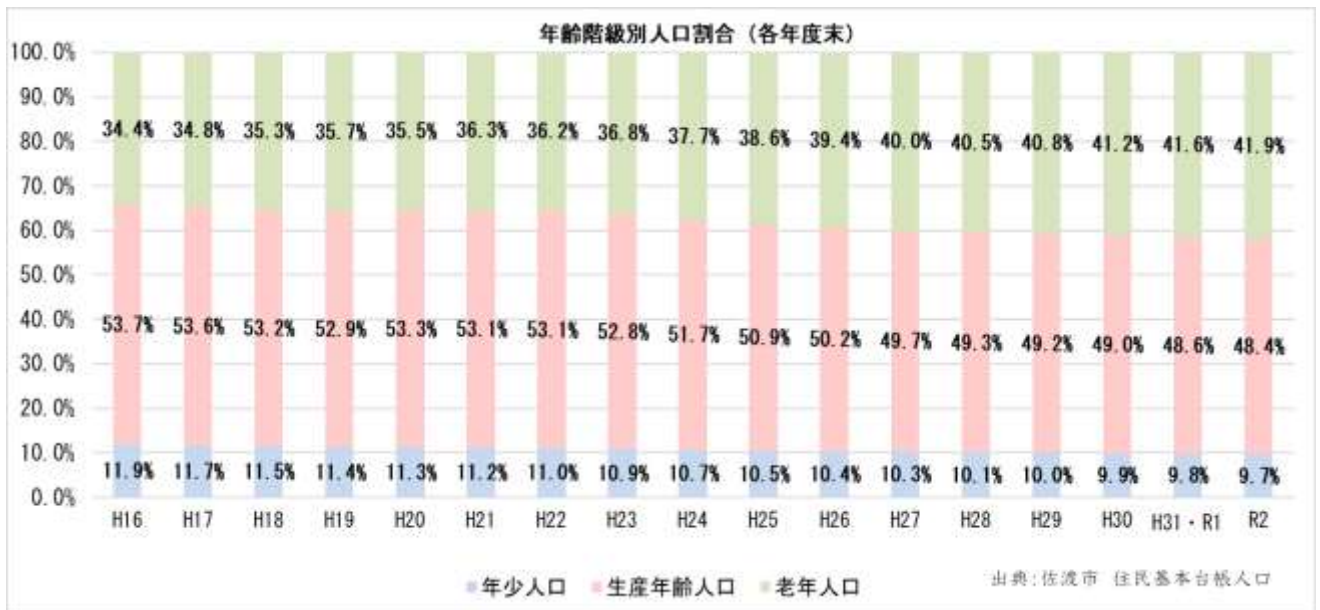
社会動態（転入・転出）においては、転出数は転入数を上回っており、人口減少に伴う転出者の減少によって、その差は減少傾向にあります。



③人口構造の状況

令和2年時点で総人口が52,467人であり、合併した平成16年と比較すると約16,000人減少しています。年齢階級別の割合で見ると、年少人口と生産年齢人口の割合は減少しており、平成27年には、生産年齢人口の割合が50%を下回り、一方で老年人口の割合は増加しています。





3

人口将来展望

平成 27 年国勢調査の結果を基準におこなった、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による将来推計では、令和 42 年（2060 年）の佐渡市の人口が 19,789 人となり、前回の社人研推計人口である 25,146 人よりも約 5 千人程度下回る予測となっています。

さらに、令和 2 年国勢調査における人口は、平成 27 年時点の社人研推計を下回る 51,492 人であり、人口減少がより加速化している状況です。

この推計を踏まえ、佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは、人口減少を短期的な取組で食い止めることは不可能であるが、人口減少を抑制するためには、若年層の流出抑制や U・I ターンの促進による移住拡大が大きなポイントとなります。

このことから、本市においては、自然減・社会減について以下のことを目指すことで、生産年齢人口の減少率を抑制し、老年人口を下回ることが防ぐとともに、令和 42 年（2060 年）に 33,000 人程度の人口になると展望しています。

（自然増減）

・子どもを産み育てやすい環境の整備により、合計特殊出生率を 5 年毎に約 0.07 ずつ向上させ、令和 42 年（2060 年）までに 2.08 に上昇

（社会増減）

・生産年齢人口（20 歳～44 歳）が、U・I ターンの施策により、令和 42 年（2060 年）まで 5 年毎に一定数増加となる。



4

今後の目指すべき将来の方向性

現状やこれまでの効果検証を踏まえ、第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、以下の施策に取り組み、人口減少対策及び地方創生の実現を目指します。

①基本目標 1

【しごと】地域の特色、地域資源を活かした産業の振興

令和2年度実施した「佐渡市高校生アンケート調査」では、希望している進学・就職等の地域については、半数以上が市外を希望しています。市外での進学・就職を希望する理由としては、「希望する進学先・就職先がない」が約6割となっています。一方で、進学や就職で一度は地元を離れるが「いずれは戻ってきたい」と約4割の方が回答しています。

このことから、“希望する仕事があり安心して働くことができる、起業もできる”環境を創出するとともに、人材の育成、雇用のマッチングなどを進める必要があります。

②基本目標 2

【新しいひとの流れ】関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる

令和2年度実施した「佐渡市総合計画に関する市民アンケート調査」では、より多く

の移住者を佐渡市に受入れるために重要なこととして、「仕事情報の発信や仲介・斡旋」が約3割と最も多く、次いで「地域の受入れ体制の構築」が約2割であることがわかりました。

このことから、お試し住宅の柔軟な活用やいつでも佐渡に住むことができる体制の整備を進めるとともに、インキュベーションセンターの構築による企業誘致や雇用と住居を核に、医療・子育て・生活などの一体的な情報発信とサービスの確保が必要です。

また、佐渡の魅力を国内外に発信し、関係人口を増やすとともに、UIターン者の取込み強化により佐渡への新しいひとの流れをつくります。

③基本目標3

【結婚・出産・子育て】結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

令和2年度実施した「子育て世代アンケート調査」では、「理想とする子どもの人数」は3人であるのに対し、実際に産む子どもの人数は2人が最も多く、1人の開きがあることがわかりました。その要因としては、「将来の教育費用等に対する経済的不安」が約4割と高くなっています。

また、子育て環境では家事と育児の役割分担について、「自分が主で、配偶者が一部を担う」、「自分が大半を担う」が半数以上となっており、理想としては「自分と配偶者が同程度担う」と約7割の方が回答しています。子育て支援では、「子どもの居場所づくり」やコミュニティづくりといった「周辺環境」が求められていることがわかりました。

このことから、将来に希望を持ち、理想とする子どもの数が持てるよう3子目以降の支援制度などを通じて経済的負担を軽減していくとともに、保育所、家庭、企業等の子育て支援を再構築し、男女ともに家事、育児と仕事が両立できるよう仕事と生活の調和がとれた環境づくりを進める必要があります。

④基本目標4

【まちづくり】ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

令和2年度実施した「佐渡市総合計画に関する市民アンケート調査」では、まちづくりへの市民参加が実現していると感じていますかの問いに、「どちらかといえば実現していない」が約3割、「実現していない」が約2割であることがわかりました。

このことから、市民を巻き込んだ行政運営、地域での話し合い、地域の将来像を描けるよう、「地域に出て地域で話す」、「地域づくりを協議できる体制」をつくり、人口の変化とそれに伴う産業構造の変化に対応したまちづくりを市民、企業、関係団体等が連携して進めていくことが一層求められています。

⑤【横断的な目標】地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり

本計画においては、総合計画の基本理念である「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島」を実現するため、SDGs で示された 17 の目標達成を意識した施策展開を行うものとしており、SDGs との関係性を明確化していきます。

第3章

第2期計画における佐渡市の戦略

1

基本方針

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、総合計画の基本理念である「歴史と文化が薫り 人と自然が共生できる持続可能な島」と一体的に取り組み、子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと輝ける島を目指し、人口減少対策と地方創生の実現に向けた施策を実施していきます。

2

施策体系

佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、4つの基本目標と、基本目標を実現するための施策別の取組、各施策に係る具体的な取組により成り立っています。

基本目標	施策別の取組	取組
1. しごと	<ul style="list-style-type: none">・ 農林水産業の振興・ 雇用のマッチングと企業支援・ 物産ブランド化と商工業の振興・ 観光の振興・ 誰もがやりがいを持って働ける環境づくり	各施策に係る具体的な取組
2. 新しいひとの流れ	<ul style="list-style-type: none">・ 起業創業機会の拡充と UI ターンの強化	
3. 結婚・出産・子育て	<ul style="list-style-type: none">・ 結婚の希望をかなえる・ 安心して子育てできる環境づくり・ 安心して妊娠・出産できる支援の充実・ 子育て環境の充実・ 学校教育の充実	
4. まちづくり	<ul style="list-style-type: none">・ 持続可能な地域づくり・ 公共交通体系の充実・ 高齢福祉の充実・ 地域福祉力の充実・ 健康・医療の体制づくり・ 歴史文化資源等の保全・活用・ 安心安全で快適な暮らしの確保	

基本目標 1：しごと

地域の特色、地域資源を活かした産業の振興

SDGs 該当分野



「しごとづくり」では、稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるよう支援を行います。あわせて、“希望する仕事があり安心して働くことができる、起業もできる”環境を創出するとともに、人材の育成、雇用のマッチングなどを進めます。

①農林水産業の振興

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
ふるさと納税やECサイト等での農産物の取扱額	5,800 万円	1 億 2,000 万円
新規養殖魚種の販売額	0 円	20,000 千円

- 新規就農者確保に向けた取組の充実
- ECサイト等を活用した佐渡産品の販売支援
- 木材生産の効率化に向けた取組
- 佐渡産材の利用促進
- 佐渡産水産物のブランド力と販売力の強化
- 島内循環に係る地産地消の取組
- みどりの食料システム戦略に基づく取組支援
- 牛を中心とした家畜の導入や増頭および技術向上への支援
- 森林の多面的機能を維持するための取組
- 育てる漁業の推進
- 新規漁業就業者の確保・育成

②雇用のマッチングと企業支援

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
創業及び事業拡大に伴う雇用人数（累計）	211 人	556 人
支援事業を活用し資格等を取得した人数（年間）	240 人	300 人

- 雇用機会の確保
- 若年者を主体とした労働力の確保
- 島内企業などの人材の確保・育成

③物産ブランド化と商工業の振興

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
コシヒカリの海上輸送（出荷）量	13,602 t	13,602 t
インターンシップ受入れ企業数（社/年）	2 社	35 社

●佐渡産品の販路開拓と販売拡大の推進

●企業ブランド力の向上

④観光の振興

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
外国人宿泊数	1,128 泊	14,000 泊
文化・スポーツツーリズム参加者数	44,943 人 (※ R1 実績)	101,500 人

●体験型コンテンツの予約手配のデジタル化

●都市交流・連携によるアフターコロナインバウンド誘客力の強化

●アドベンチャーツーリズムの推進

●金銀山関連史跡を活用したナイトコンテンツの造成

●観光案内所を拠点とした受入れ態勢の強化

●だっちゃんコインアプリによる情報発信と観光CRMの体制づくり

●インバウンドへの情報発信強化

●文化・スポーツツーリズムコンテンツの造成

●Maas と連携したエリア周遊の推進

●ハード面での受入れ環境の整備

●観光ガイドの養成

⑤誰もがやりがいを持って働ける環境づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
仕事と家庭の両立支援体制制度を整備している事業所の割合	11.2%	29%
福祉施設から一般就労への移行者数	10 人	15 人

●男女共同参画の推進

●高齢者の就業機会の確保

●働き方改革の推進

●障がい者の就労支援

【農林水産業の振興】

重点課題である担い手不足や生産性向上を推進するとともに、ブランド化、販路拡大などの取組により経営安定を目指します。

主な取組及び内容

①新規就農者確保に向けた取組の充実

新規就農者の受入れと育成のため、農作業体験の場や研修可能な機関の支援体制を強化します。

②みどりの食料システム戦略に基づく取組支援

無農薬無化学肥料で栽培された農産物を拡大するため、生産部門と販売部門の両面を支援します。

③ECサイト等を活用した佐渡産品の販売支援

食品ロスや農家の所得向上のため、農家のECサイト等への出品支援や規格外農産物の取扱いを充実させます。

④牛を中心とした家畜の導入や増頭および技術向上への支援

畜産業を維持していくため、既存農家への優良和牛導入支援や新規参入者への空き牛舎のマッチング、またCBSでの研修受入れなどを支援します。

⑤木材生産の効率化に向けた取組

林業事業体に対して「技術者育成のための研修費」や「林業機械導入費」の支援を行い、効率的な施業と生産性向上を図ります。また、生産性向上により、木質バイオマスの供給可能量の増加へつなげます。

⑥森林の多面的機能を維持するための取組

山林において下刈りや間伐等の管理を継続的に実施することにより、多面的機能が持続的に発揮される森づくりに努めます。

主な取組及び内容

⑦佐渡産材の利用促進

「生産地から市場等に佐渡産原木を運搬する費用」や「住宅等を建築・増改築する際の佐渡産材購入費用」の一部を助成することで、佐渡産木材の利用を促進します。木材の生産性向上に資する林道の整備及び管理に努めます。

⑧育てる漁業の推進

漁業者や企業、大学・研究機関等と連携して海洋深層水を活用したコンブやウニなどの促成養殖技術の確立に取り組みます。

⑨佐渡産水産物のブランド力と販売力の強化

離島漁業再生支援交付金を活用する対象漁業集落の合併推進と取組の連携強化を図ります。

⑩新規漁業就業者の確保・育成

佐渡市水産業雇用促進センターでの相談受付及び新規漁業就業者支援事業による支援を行い、漁協や里親漁家と共に経営能力の高い漁業者を育成します。

⑪島内循環に係る地産地消の取組

島内の有機資源を活用し、生産された農産物を学校給食等に積極的に導入します。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R 8)
新規就農者数 (年間 20 人目標)	15 人	20 人
無農薬無化学肥料栽培の取組面積	0.1%	10%
ふるさと納税や E C サイト等での農産物の取扱額	5,800 万円	1 億 2,000 万円
黒毛和牛飼育頭数	958 頭	1,000 頭
素材生産性	3 m ³ /人・日	5 m ³ /人・日
市有林年間整備面積	43.56ha	70.00ha
佐渡産木材使用量	110 m ³	170 m ³
新規養殖魚種の販売額	0 円	20,000 千円
漁業集落による加工品販売額	4,051 千円	10,000 千円
支援した漁業就業希望者 (累計)	5 名	14 名
学校給食での佐渡産野菜使用率 (佐渡市地産地消計画)	17.2%	30%

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を活かした産業の振興

【雇用のマッチングと企業支援】

就職説明会やインターンシップなど、ハローワークや学校等と連携し、求職と求人の各面からの支援に取り組むことで、雇用のマッチングと人材確保を図ります。

主な取組及び内容

①雇用機会の確保

ハローワークや商工会、UI ターンサポートセンター等の関係機関と連携し、国・県等の支援策の活用を図りながら、起業・創業、事業拡大、事業継承等に伴う支援を行います。

②島内企業などの人材の確保・育成

資格がない方でも島内企業で働くことができるよう、資格取得や人材育成を支援し、島内企業の人材確保の機会拡充を図ります。

③若年者を主体とした労働力の確保

若者サポートステーション、ハローワーク、学校等の関係機関との連携を強化し、若者と地元企業のマッチング支援を図ります。また、若者無業者の就労に向けたジョブトレーニングやセミナーなど就労支援を行います。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R8)
創業及び事業拡大に伴う雇用人数（累計）	211 人	556 人
支援事業を活用し資格等を取得した人数 （年間）	240 人	300 人

基本目標 1：しごと 地域の特色、地域資源を活かした産業の振興

【物産ブランド化と商工業の振興】

物産品の販路拡大を目指し、プロモーションやバイヤーとのマッチングなどを強化します。商工業の振興については、人手不足対策や労働生産性を高める取り組みを進め、売上拡大や域内消費拡大を目指します。

主な取組及び内容

①佐渡産品の販路開拓と販売拡大の推進

物産品の販路拡大を目指し、首都圏や海外をターゲットとしたプロモーションや、バイヤーとのマッチングなどを強化します。

②企業ブランド力の向上

島全体の販売力・ブランド力・企業力の向上と地域産業を担う人材の確保・育成を推進することにより、島内事業者の基盤整備及び人材育成につなげ魅力ある企業、働く場を創出します。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R8)
コシヒカリの海上輸送（出荷）量	13,602 t	13,602 t
インターンシップ受入れ企業数（社/年）	2 社	35 社

【観光の振興】

個人・団体旅行など、多様なニーズに応じた旅行商品や滞在プログラムの充実を図ります。観光拠点の形成や回遊性の向上を図り、観光客・来訪者へのおもてなし・居心地のよい環境づくりを進めます。

主な取組及び内容

①体験型コンテンツの予約手配のデジタル化

多様な観光体験の情報発信や予約・決済を一元化することで、顧客側にはスマートな体験価値として提供すると共に、さど観光ナビを中心とした人流を強化することにより情報発信の精度を高めます。

②インバウンドへの情報発信強化

ニーズに沿った観光情報を提供するため、さまざまな情報媒体を活用し、戦略的な情報発信を行います。

③都市交流・連携によるアフターコロナインバウンド誘客力の強化

対岸市、連携協定締結市等との交流促進、インバウンドを含めた受入れ態勢の強化に取り組めます。

④文化・スポーツツーリズムコンテンツの造成

文化やアクティビティ等、佐渡が誇る観光素材が刺さる層に訴求する為、EC、銀河芸術祭、スポーツ大会を活かしたコンテンツの造成をします。

⑤アドベンチャーツーリズムの推進

佐渡が誇る文化・スポーツツーリズムの魅力磨き上げ・コンテンツ造成を行い、適切な市場に発信することにより、継続的なファン層の構築を図ります。

⑥MaaS と連携したエリア周遊の推進

複数のモビリティの検索・予約・決済を統合する MaaS 及びだっちゃコインを軸として、エリア内周遊を推進するための仕組みづくり、情報発信を行います。

主な取組及び内容

⑦金銀山関連史跡を活用したコンテンツの造成

滞在期間の延伸を目的として、文化施設を活用したコンテンツを造成することにより、滞在型観光を促進します。

⑧ハード面での受入れ環境の整備

景観を美しく保つため、環境に配慮した施設の維持管理に努めます。また、主要な公衆トイレの洋式化及び温水シャワー設備等、ニーズに沿ったインフラ整備を行い、更なる観光客の満足度向上を目指します。

⑨観光案内所を拠点とした受入れ態勢の強化

3か所の観光案内所を拠点としたエリア内周遊のためのコンテンツ造成、受入れ態勢を強化します。

⑩観光ガイドの活用

Maas と連携して観光案内所を拠点としたエリア内周遊観光を推進するため、ガイドの常駐化による新サービスの実施により観光客の満足度向上を図ります。また、ふれあいガイド等のスキルアップの向上に取り組みなす。

⑪だっちゃんコインアプリによる情報発信と観光CRMの体制づくり

地域全体で稼ぐ仕組み、既存顧客へのロイヤリティ付与による良好な関係性構築のため観光CRMの体制を整備します。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R8)
さど観光ナビのセッション数	779,494 セッション	820,000 セッション
外国人宿泊数	1,128 泊	14,000 泊
文化・スポーツツーリズム参加者数	44,943 人 (※R1 実績)	101,500 人
観光案内所利用者数	30,817 人	70,000 人
シャワートイレ整備数	6 施設	24 施設
ふれあいガイドの利用客数	7,709 人	20,000 人

【誰もがやりがいを持って働ける環境づくり】

若者から高齢者、障がい者などの誰もが経験や知識などを活かし、働くことができるよう機会の充実を図ります。また、仕事と家庭の両立ができる環境づくりや多様な働き方を選択できるよう就業環境の整備に取り組みます。

主な取組及び内容

①男女共同参画の推進

男女共同参画社会の実現に向け、市民や事業所への啓発活動を通じて、地域社会における男女平等の風土づくりを行っていきます。具体的には、関係機関と協力しながら、女性の活躍推進や男性の意識改革などをテーマとしたセミナー開催等による啓発活動や、ワーク・ライフ・バランス推進のため各事業所への各種支援制度の周知を実施します。

②働き方改革の推進

仕事と家庭の両立ができる環境づくりなど、雇用の場における男女共同参画を推進し、それぞれの事業に応じた多様な働き方を選択できる就業環境整備に向け、各種制度の周知・啓発に努めます。

③高齢者の就業機会の確保

高齢者の生きがい対策として、高齢者の就業機会を確保し、地域社会への参加を促進します。

④障がい者の就労支援

働く意欲のある障がい者がその適性に応じて能力を十分に発揮することができるよう、ハローワークや障がい者就業・生活支援センター、就労支援施設等関係機関と連携し、企業等への啓

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R8)
仕事と家庭の両立支援体制制度を整備している事業所の割合	11.2%	29%
シルバー人材センター会員登録者数	952 人	952 人
福祉施設から一般就労への移行者数	10 人	15 人

基本目標 2：新しいひとの流れ

関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる

SDGs 該当分野



UI ターンを更に拡大するため、情報発信の強化とともに、ワンストップ窓口・支援窓口の整備に努めます。また、住まいの確保や移住後の経済的支援・仕事の斡旋など、受入体制を強化します。

①起業創業機会の拡充と UI ターンの強化

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
インキュベーションセンター等への進出企業数	6 社	13 社
UI ターン者の定住率 ※R3 より計測開始	0%	80%

- インキュベーションセンターやシェアオフィスの整備と利活用促進
- ビジネスコンテスト等企業誘致活動の展開
- ベンチャー企業のスタートアップ支援の強化
- 中高生をターゲットとした IT 人材および起業家の育成講座等の推進
- 移住者および移住希望者のフォロー体制の強化
- 空き家活用マネジメント力の強化と体制整備
- 佐渡部の強化による都市部との繋がり再構築と UI ターン者の受入れ促進
- 離島留学制度の推進
- 大学連携・地域間交流による地域創生

基本目標２：新しいひとの流れ 関係人口を増やし、佐渡への新しいひとの流れをつくる

【起業創業機会の拡大と UI ターンの強化】

雇用を生み出す企業誘致の更なる強化を図ります。また、地域の魅力を発信し、関係人口を増やし、移住体験の交流の実施や移住相談会を開催し、佐渡への新しいひとの流れを創出します。

主な取組及び内容

①インキュベーションセンターやシェアオフィスの整備と利活用促進

インキュベーションセンターおよびシェアオフィス進出の誘致活動を進めるため情報発信を強化します。

②ビジネスコンテスト等企業誘致活動の展開

ベンチャー企業のスタートアップ支援と企業誘致を併せて推進するため、ビジネスコンテストの開催およびトップセールスを中心とした誘致活動を強化します。

③ベンチャー企業のスタートアップ支援の強化

起業成功率No.1の島の実現と若者の移住者の受入れを促進するため、ベンチャー企業支援策の充実を図ります。

④中高生をターゲットとした IT 人材および起業家の育成講座等の推進

若者の定着化を図るため、民間スタートアップ団体および進出企業と連携したプログラミングスクールや起業家育成プログラムを実施します。

⑤移住者および移住希望者のフォロー体制の強化

移住者の受入れ促進と定着化を図るため、「移住」「暮らす」「働く」の窓口1本化と機能強化のための取組を進めるとともに、佐渡暮らしサポーターズを展開し、移住支援体制の強化を図ります。

⑥空き家活用マネジメント力の強化と体制整備

空き家の利活用から関係人口と移住定住の拡大を図るため、空き家活用コーディネーターの育成および空き家相談窓口機能の1本化による推進体制を構築します。

主な取組及び内容

⑦佐渡部の強化による都市部との繋ぎの再構築と UI ターン者の受入れ促進

若者 UI ターン者を獲得するため、関係人口から移住定住につなげるための佐渡部を開催し、情報発信活動の強化とオンラインによるイベント等の企画・運営による充実を図ります。

⑧離島留学制度の推進

離島留学制度を島外へ情報発信し、離島留学生在が安心して生活できるよう地域の関係機関と連携し受入体制整備に取り組みます。

⑨大学連携・地域間交流による地域創生

大学連携や地域間交流による地域創生を目的に、拠点を中心とした連携体制を構築し、各種の研究開発や人材育成など多様な取り組みを進めます。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R 8)
インキュベーションセンター等への進出企業数	6 社	13 社
UI ターン者の定住率 ※R3 より計測開始	0%	80%
空き家バンクの成約数	37 件	50 件
若者 UI ターン者数	295 人	350 人
高等学校に離島留学した学生の数 (累計)	0 人	16 人
交流拠点施設の利用者数	7,313 人	20,000 人

基本目標 3：結婚・出産・子育て
結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

SDGs 該当分野



結婚・出産から子育てまで、切れ目のない、きめ細やかな支援を行います。安心して子育てのできる環境を整え、特色ある教育により、将来の佐渡を担う子どもの育成に取り組みます。

①結婚の希望をかなえる

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
婚姻率	2.7%	3.0%

- 出会いから結婚までのサポート

②安心して子育てできる環境づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
出生数	249 人	287 人
ファミリーサポートセンター会員数	121 人	150 人

- 子どもが元気な佐渡が島（たからじま）事業
- 公立保育園民営化の促進
- 保育園統合による施設整備
- 公立保育園等 ICT 化
- 放課後児童クラブの整備・充実
- 多子世帯出産成長祝金事業
- 有資格保育士の人員確保
- 副食費無償化の拡充
- ファミリーサポートセンターの充実

③安心して妊娠・出産できる支援の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
出生数	249 人	287 人

- 島外特定不妊治療支援
- 妊産婦医療費助成の充実

④子育て環境の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
外国にルーツのある母を就労につなげた人数	8 人	20 人

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ●妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談サポート | ●外国にルーツのある家庭への就労支援 |
| ●親子参加型事業による家庭教育支援 | ●体験活動による青少年教育の実施 |

⑤学校教育の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
I C T を活用した授業研究の実施校	74%	100%

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ●郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 | ●「豊かな心を育む教育」の推進 |
| ●「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組 | ●I C T を活用した教育の推進 |
| ●学校図書の充実 | ●経済的困窮者への就学援助 |

基本目標 3：結婚・出産・子育て 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【結婚の希望をかなえる】

理想のライフデザインを実現させるための支援を行うとともに、結婚を希望する人には、出会いから結婚までの支援を行います。

主な取組及び内容

①出会いから結婚までのサポート

県や民間事業者等と連携し、個人のニーズにあった効果的な結婚イベントやマッチング事業を通して、出会いの場を提供します。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R8)
婚姻率	2.7%	3.0%

【安心して子育てできる環境づくり】

すべての家庭が安心して子育てできるよう、多様なニーズに応じた子育てや必要なサービスが利用できる充実した子育て環境を提供します。また、子育て世代の経済的な負担軽減を図ります。

主な取組及び内容

①子どもが元気な佐渡が島（たからじま）事業

島全体で子どもの誕生を祝う機運を醸成するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を目的に出生祝金を支給します。

②多子世帯出産成長祝金事業

多子世帯の子育てにかかる費用の経済的負担軽減、第3子以降の妊娠・出産の後押しを目的に成長祝金を支給します。

③公立保育園民営化の促進

民間が持つ柔軟性を活かした多様な保育事業を展開します。

④有資格保育士の人員確保

人材育成・確保事業等による専門職の確保を推進します。

⑤保育園統合による施設整備

財政健全化も含め将来を見据えた適正配置を進めます。

⑥副食費無償化の拡充

無農薬米や有機野菜による安全で質の高い給食の提供及び地産地消を図り、幼児期からの食育を推進します。

⑦公立保育園等 ICT 化

システム導入による保護者の利便性向上と保育士の業務改善を図ります。

⑧ファミリーサポートセンターの充実

会員のニーズを把握しながら、サービス内容の改善、拡充など事業拡大に取り組みます。

主な取組及び内容

⑨放課後児童クラブの整備・充実

各地域のニーズを把握しながら、利用申込者の増減に伴う施設整備を進めるとともに、民間運営の促進を図ります。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R 8)
出生数	249 人	287 人
第 3 子以降の出生数	58 人	50 人台を維持
地産地消率	40%	45%
ICT システム導入	0 園	7 園
ファミリーサポートセンター会員数	121 人	150 人
放課後児童クラブ延べ利用児童数	57,000 人	60,000 人

基本目標 3：結婚・出産・子育て 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【安心して妊娠・出産できる支援の充実】

妊娠から出産までを安心し、希望する子どもの数が持てるよう、妊娠や出産に関する費用の一部を助成し、経済的な負担の軽減を図ります。

主な取組及び内容

①島外特定不妊治療支援

経済的な負担を軽減するため、不妊治療費に加え不育治療費の助成拡充をします。

②妊産婦医療費助成の充実

妊娠された方が安心して出産できるよう、妊産婦が医療機関に支払う医療費の一部を助成します。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R 8)
出生数	249 人	287 人

基本目標 3：結婚・出産・子育て 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【子育て環境の充実】

妊娠、出産から子育てまで切れ目のない、きめ細やかな支援を行います。地域全体で子どもを育むための支援体制に取り組みます。

主な取組及び内容

①妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談サポート

妊娠期から 39 歳までの市民に関わる相談を受け付け、関係機関と連携し、切れ目のない支援体制を整えます。

②外国にルーツのある家庭への就労支援

外国にルーツのある母たちの就労のための講座（日本語講座、履歴書の書き方、マナー講座等）等を開催し、就労につなげることで、家庭の安定した収入確保を図ります。

③親子参加型事業による家庭教育支援

親子のふれあいや親子がともに成長する機会を創出するために親子参加型の講座や教室を開催し、家庭教育支援を行います。

④体験活動による青少年教育の実施

子どもの協調性・人間性を養うために青少年の体験活動を開催し、青少年教育を行います。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R8)
外国にルーツのある母を就労につなげた人数	8 人	20 人
青少年健全育成事業参加者数	7,580 人	14,000 人

【学校教育の充実】

児童・生徒の豊かな心と健やかな体を育む教育を基本に、ICT 教育などの時代のニーズに合わせた教育に取り組めます。

主な取組及び内容

①郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進

キャリア形成と自己実現を支援するため、幼児期から高校まで、郷土愛を軸にしたキャリア教育の学びをキャリア・パスポートにより蓄積します。

②「豊かな心を育む教育」の推進

保護者とともに、いじめの未然防止や自己肯定感の醸成を図るため、「道德教育研修講座」「人権教育・同和教育研修講座」を開催して道德の授業公開につなげます。

③「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組

佐渡の未来を担う人材を育成するため、学習意欲向上プロジェクト等により大学や研究機関等との連携を促します。

④ I C Tを活用した教育の推進

学習活動の一層の充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を進めるため、総合教育センターで I C Tを活用した授業づくりに係る研修会を実施し、各学校での研修を促します。

⑤学校図書の充実

児童生徒の読書環境の充実を図るため、年度末に各学校の蔵書冊数調査を行い、必要な学校に補充を進めます。

⑥経済的困窮者への就学援助

就学援助事業の周知徹底を図るため、児童生徒一人一人につき、各家庭の就学支援の意思を確認する申請書を配布し、各学校で全家庭から回収を行います。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R 8)
「将来の夢や目標を持っている」の肯定的評価率	小学校 82.9% 中学校 65.5% ※R 1 実績	小学校 85% 中学校 75%
自己肯定感の肯定的評価率	小学校 82.6% 中学校 71.8% ※R 1 実績	小学校 85% 中学校 75%
高等教育・研究機関等を活用した教育活動の実施	65.7%	80%
ICT を活用した授業研究の実施校	74%	100%
図書の蔵書基準冊数の達成率	91%	100%
就学支援申請の意思確認回収率	85%	95%

基本目標4：まちづくり

ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる
持続可能なまちづくり

SDGs 該当分野



安心して暮らせる地域コミュニティの維持・活性化に取り組みます。様々な分野のひとが参画するための体制整備や機会の充実によって、市民が主役となるまちづくりを進めます。

①持続可能なまちづくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
地域づくり活動に係わった人数	4,442 人	4,600 人
地域おこし協力隊定着率	80.8%	82.5%

- 地域づくり活動への支援
- 再生可能エネルギー及び脱炭素の推進
- 地域おこし協力隊等外部人材の活用
- 広報戦略

②公共交通体系の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
航路利用者	70 万人	130 万人
路線バス利用者	35 万人	38 万人

- 佐渡航路の安定輸送の維持・確保
- 効率的なバス交通ネットワーク構築
- 佐渡空港の整備及び航空路の再開

③高齢者福祉の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
平均自立期間（要介護2以上）	80.4 歳	81.0 歳
高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合	59.5%	65%

- 健康づくりと介護予防の推進
- 医療・介護・福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進
- 高齢者の生きがいある暮らしの推進

④地域福祉力の充実

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
ボランティア登録数	523 人	550 人

- ボランティア活動の活性化
- 地域全体で支え合う体制の推進
- 総合相談窓口の設置による重層的支援体制の構築

⑤健康・医療の体制づくり

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
さどひまわりネット加入率	31.5%	35%

- 健幸さど21計画の推進
- 健康づくりのためのスポーツ・レクリエーションの普及促進
- 高齢者の健康づくりや生きがいづくりの推進
- 医療・福祉との連携による安全・安心に暮らせる地域づくりの推進
- 安全・安心な医療が受けられる体制
- へき地医療体制の維持

⑥歴史文化資源等の保全・活用

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
世界遺産構成資産の整備件数	1 件	8 件
ジオパークガイド数	20 人	30 人

- 世界遺産などの地域資源の保存と活用
- 郷土愛の醸成と担い手の育成
- 地域資源を活用した交流拠点づくり
- 佐渡ジオパークのサイトの地質資源の保護・保全及び活用推進
- 博物館の魅力向上と地域文化体験機会の創出

⑦安心安全で快適な暮らしの確保

目標指標 (KPI)	現状値	目標値 (R8)
地域防災リーダー認定、登録者数	241 人	300 人

- 地域防災力向上に資するリーダーの育成
- 市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施
- 地区の人命、財産を守るための共助による地区防災計画の策定
- 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進
- 社会インフラ老朽化対策の推進
- 港湾等防災拠点の整備
- 応急手当の普及促進
- 幹線道路等の社会資本整備
- 持続可能な水道施設の整備
- 自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進

基本目標 4：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【持続可能なまちづくり】

安心して暮らせる地域コミュニティの維持・活性化に取り組みます。また、地球温暖化防止活動の取組など、自然環境の保全と活用を図ることを基本に、再生可能エネルギーの導入・活用を推進します。

主な取組及び内容

①地域づくり活動への支援

各支所・行政サービスセンターを拠点に、地域活動団体等による地域づくり活動への支援により、個性豊かで活力ある地域づくりを推進します。

②地域おこし協力隊等外部人材の活用

地域おこし協力隊の配置や地域と大学生等との交流への支援により、地域課題の解決や地域の賑わいの再生を図ります。

③再生可能エネルギー及び脱炭素の推進

エネルギーの地産地消等、資源の地域循環や防災機能強化につながる持続可能な地域づくりのため、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの普及促進、各種補助事業の実施、セミナー等を通じた普及啓発活動、関係団体との連携等を行います。

④広報戦略

地域ブランディングを通して地域のイメージを向上させるとともに、移住者・定住者を増やす、地域への人の往来を増やすことを実践することで「魅力ある地域として人々に選ばれるまち」を目指します。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R8)
地域づくり活動に係わった人数	4,442 人	4,600 人
地域おこし協力隊定着率	80.8%	82.5%
再生可能エネルギー推進補助金活用件数	10 件	20 件
さどまる倶楽部会員数	36,810 人	120,000 人

基本目標 4：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【公共交通体系の充実】

国・県・交通事業者と連携し、基幹航路の維持に取り組めます。また、島内交通である路線バスの維持・活性化とともに、新たなモビリティサービスの導入を進めます。

主な取組及び内容

①佐渡航路の安定輸送の維持・確保

離島住民の生活航路確保及び交流人口拡大のため、利便性向上と誘客促進を図り安定的な運航体制を維持していきます。

②佐渡空港の整備及び航空路の再開

地域経済の拡大と交流人口の増加を図るため、休止中の航空路再開及び新佐渡空港滑走路 2,000m化を推進します。

③効率的な島内交通ネットワーク構築

地域住民の移動手段の確保と来訪者の利便性や回遊性を向上させるため、自動運転と ICT を活用した新モビリティサービスを推進します。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R 8)
航路利用者	70 万人	130 万人
航空路利用者	0 人	10 万人
路線バス利用者	35 万人	38 万人

基本目標 4：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【高齢者の福祉サービス】

高齢者の健康づくりや活躍できる場づくりなどの社会参画を推進しながら、支え合いの地域づくりを進めます。また、認知症対策など安心して暮らせるよう質の高い介護サービスの提供に取り組みます。

主な取組及び内容

①健康づくりと介護予防の推進

健康寿命日本一を目指し、健康づくりや食育と栄養対策等の保健事業と介護予防事業を一体的に実施します。

②高齢者の生きがいある暮らしの推進

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って安心して生活できるよう、社会参加しやすい地域づくりを推進します。

③医療・介護・福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、日常圏域ごとに、医療・介護・福祉が一体となって地域全体を支える体制整備を図ります。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R8)
平均自立期間（要介護2以上）	80.4 歳	81.0 歳
介護予防事業参加率	10.3%	15%
高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合	59.5%	65%
認知症サポーター養成講座受講者数	8,477 人	10,000 人

基本目標 4：まちづくり ひとが集い、賑わい、安心して暮らせる持続可能なまちづくり

【地域福祉力の充実】

地域での見守り体制づくりやボランティア活動の支援など、地域福祉力を高め、安心して暮らせるまちづくりを展開します。

主な取組及び内容

①ボランティア活動の活性化

社会福祉協議会のボランティアセンターの活動を支援し、ボランティアの育成や地域でのボランティア活動を推進するとともに、誰もが気軽に取り組める風土づくりや新たな人材発掘・育成に努めます。

②地域全体で支え合う体制の推進

多様化する地域住民の課題に対応するため、子ども、高齢者、障がい者など全ての人々が地域の暮らし、生きがいを共に創り、コミュニケーションを高め合うことができるよう、住民が主体的に偏見なく地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援し、地域力向上に努めます。

③総合相談窓口の設置による重層的支援体制の構築

介護、障がい、子ども・子育て等の地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する総合相談窓口を設置し、包括的な支援体制の構築に努めます。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R8)
ボランティア登録数	523 人	550 人

【健康・医療の体制づくり】

健康診断や生活習慣の改善など、健康寿命日本一を目指した健康づくりを支援します。安全・安心な医療が受けられるよう、切れ目ない地域医療体制の構築を図ります。

主な取組及び内容

①健幸さど２１計画の推進

各世代共通の健康課題である“肥満”や“欠食”の改善のために生活習慣や運動習慣の改善に向けた普及活動を推進します。

②健康づくりのためのスポーツ・レクリエーションの普及促進

スポーツ・レクリエーションを通じて健康づくりを促進するため、ダンスや軽運動、ウォーキングなどの教室を開催します。

③高齢者の健康づくりや生きがいづくりの推進

高齢者の生きがいづくりや健康づくりの機会充実のために、高齢者向け教室や講座を開催します。

④医療・福祉との連携による安全・安心に暮らせる地域づくりの推進

医療機関、調剤薬局、介護福祉施設間で患者情報を共有し、安全な医療・介護を提供するために、「さどひまわりネット」への加入促進を図るとともに、医療・介護・福祉の連携体制を強化します。

⑤安全・安心な医療が受けられる体制

新潟県地域医療構想の推進により、病院及び有床診療所の病床機能の役割分担と相互連携を強化します。また、医療従事者確保のための、看護師への補助、学生への奨学金貸付、研修医海外留学支援等を行います。

⑥へき地医療の維持

過疎化、高齢化に伴う受診のための交通手段の課題に対し、遠隔医療におけるＩＣＴ化の検討を行います。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R 8)
肥満（BMI25 以上）に該当する人の割合	30%	25%以下
健康・スポーツ・ウォーキング教室の参加者数	1,380 人	1,800 人
さどひまわりネット加入率	31.5%	35.0%
医療技術者奨学資金貸与看護師の市内就職率	55.6%	80.0%

【歴史文化資源の保全・活用】

世界遺産をはじめとする本市の歴史文化遺産の保全・活用に取り組みます。また、佐渡ジオパークサイトの地質資源を守り活用した事業や博物館を中心とした歴史文化を活かしたまちづくりを展開します。

主な取組及び内容

①世界遺産などの地域資源の保存と活用

世界遺産の構成資産や関連する文化財の保存と活用に向けた取組を支援します。

②郷土愛の醸成と担い手の育成

佐渡の文化や自然を学ぶ機会の提供や普及啓発活動を推進します。

③地域資源を活用した交流拠点づくり

佐渡金銀山ガイダンス施設の機能強化や世界遺産を核とした地域の賑わいを創出します。

④佐渡ジオパークのサイトの地質資源の保護・保全及び活用推進

佐渡島の成り立ちや文化・歴史を伝え、その価値を守り高めるため、佐渡ジオパークのサイトの地質資源の保護・保全及び活用を推進します。

⑤博物館の魅力向上と地域文化体験機会の創出

博物館資料の分かりやすい解説と資料整理や調査によるコレクションの磨き上げにより魅力ある展示と発信力の強化に取り組みます。また、市民と観光客が一体となる文化体験メニューを提供し、貴重な文化資源の担い手育成を図ります。

目標指標 (KPI)	現状値	目標値(R8)
世界遺産構成資産の整備件数	1 件	8 件
各種普及啓発事業の参加者数	4,190 人	5,300 人
ジオパークガイド数	20 人	30 人

【安心安全で快適な暮らしの確保】

災害に強い地域をつくるため、地域による防災活用に対する支援を行うなど、安心安全な暮らしの確保に向けた取り組みを推進します。また、市民の暮らしを支える道路など社会基盤の整備・維持など住環境の向上を図ります。

主な取組及び内容

①地域防災力向上に資するリーダーの育成

自主防災組織の活動において中核的存在となる人材として地域防災リーダーの育成を図ります。

②市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施

災害発生時における対応能力の向上と市と関係機関相互の協力体制の確立を図るとともに市民が参加し災害に対する知識の向上を図ります。

③地区の人命、財産を守るための共助による地区防災計画の策定

共助による地域防災力強化、地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

④公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

市財政負担の軽減化、平準化を図るため、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の総量縮減が必要となります。同計画の推進に向けては、地元や利用者と問題意識を共有し、合意と理解が必要となることから、各種集会等において同計画の周知と意見交換を行うことにより、市民等の理解度向上に努めます。

⑤社会インフラ老朽化対策の推進

橋梁等の定期点検により健全性を把握し、老朽化により安全性が懸念される施設について、補修等を実施し施設の長寿命化と通行の安全性の確保を図ります。

⑥港湾等防災拠点の整備

港湾施設の将来の機能確保をするため、岸壁の老朽化対策や埠頭用地整備による防災拠点の整備を図ります。

主な取組及び内容

⑦応急手当の普及促進

突然のケガや病気に対応するための応急手当を市民に普及することを目的に、小中学生を含めた市民を対象とした普通救命講習を実施します。また、受講し易くするために救命入門コースや分割型の講習を行うことで普及を促進します。

⑧幹線道路等の社会資本整備

集落間を結ぶ法線の悪い区間や狭くて見通しの悪い箇所等の改良整備をし、事故等の危険性解消や利便性の向上を図り、地域住民が安全安心に利用できる道路整備を行います。

⑨持続可能な水道施設の整備

安定的な水道水の供給に向け、災害や老朽化に備えて主要施設と重要な送水管、配水管の計画的な更新と耐震化を推進します。

⑩自然環境の保全に向けた下水道接続等の促進

河川等の水質改善による美しい自然環境の保全のため、下水道未接続者や単独浄化槽利用者などへの啓発普及活動、公共下水道整備事業を実施します。

目標指標（KPI）	現状値	目標値(R8)
地域防災リーダー認定、登録者数	241 人	300 人
公共施設延床面積を 2045（令和 27）年までに 2015（平成 27）年比 30%削減	3.5%	8.9%
橋梁の健全度率	73.3%	75%
人口に対する普通救命講習 受講者割合	17.2%	20%
市道の改良率	49.6%	55%
基幹管路の耐震化率	21.5%	27%
污水衛生処理率	56.7%	63.8%

【資料】

用 語 説 明

あ	アドベンチャーツーリズム
	アクティビティ、自然、文化体験の 3 要素のうち 2 つ以上で構成される旅行をいいます。
	インキュベーションセンター
	創業初期段階における事業の拡大や成功を支援する目的のもと、通常よりも安価な賃料で事務所スペースを提供したり、事業の立ち上げに関する専門家によるサポートを提供したりする施設のことです。
	インターンシップ
	学生の就業体験のことです。学生が一定期間企業などで研修生として働き、自分の将来に関連のある就業体験を行います。
	インバウンド
か	観光 CRM
	CRM(Customer Relationship Management)とは、顧客関係管理を意味します。観光業においては、団体旅行意向が減少し、消費者それぞれが各種メディアを使って観光地を選んで旅行することが増えました。そのため消費者による口コミやアフターサービスの重要性が増してきており、個々の顧客とのより良い関係性（CRM）を築くことが非常に重要になっています。
	キャリア教育
	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のことです。（キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のことを指します。）本市においては、郷土愛を育み、本市に貢献しようとする人材の育成を目指しています。
	健幸さど 21 計画
	市民一人ひとりが主体的、積極的に健康づくりに取り組み、「健やかで幸せに暮らせる佐渡」を目指し、市民が参加参画して策定した健康づくり計画です。
	公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進
	老朽化対策や災害時の機能確保などを行うため、長期的な視点をもって、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化など、総合的かつ計画的な管理を推進する計画です。

さ	再生可能エネルギー
	太陽光、風力、水力など、エネルギー源として永続的に利用することができるものと認められるものを指します。
	佐渡市総合計画
	本市における最上位計画であり、政策の重点化を図り、地域の特性を活かした施策を展開する行政運営の基本方針です。（計画期間：令和４年度から令和８年度）
	さどひまわりネット
	病院・医科診療所・歯科診療所・薬局・介護施設等の参加施設の間で、患者の病気・薬の内容・検査の結果などの情報を通信システムで共有し、協力し合うことで、安全で質の高い医療・介護サービスの提供を目指す地域医療連携システムのことです。
	佐渡部
	首都圏で暮らす 20 歳から 39 歳までの佐渡出身者または佐渡にゆかりのある方の U ターンの促進、コミュニティの形成を目的として、首都圏においてイベントを開催し、佐渡への U ターン事情や会員同士の交流を深めています。
	シェアオフィス
	企業や個人が利用するためのオフィス空間や設備を、シェアするという発想の貸しオフィスのことです。
	ジオパークサイト
	ジオパークとして価値のある「見どころ」を「サイト」といいます。 火山や地震などの地球活動や大地の成り立ちがわかる場所を「ジオサイト」、植物群生地などの生物学的価値のある場所を「エコサイト」、遺跡や人が作った施設などの文化的価値のある場所を「文化サイト」といい、それらを総称するものです。
	自然減・社会減
	一定期間における出生・死亡に伴う人口の動き（自然動態）において、死亡数が出生数を上回ることを自然減、一定期間における転入・転出に伴う人口の動き（社会動態）において、転出数が転入数を上回ることを社会減といいます。
	社会インフラ
	社会や生活を支える公共的な基盤や仕組みです。「基盤」を意味する ingrastructure を略して「インフラ」と呼んでいます。電気、ガス、水道をはじめ、道路、鉄道などの通信サービスなど、私たちの生活に欠かせない基盤となる設備やサービスのことです。

た	重層的支援体制
	地域住民の複雑化・複合化した介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮などの支援ニーズに対応する相談支援、参加支援、地域づくりに向けた包括的かつ一体的な支援体制を指します。
	ジョブトレーニング
	働くためのウォーミングアップから、入職のために必要なスキルアップやマナートレーニングまでの働く準備をいいます。
	脱炭素
	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を抑え、吸収量と均衡させることで、実質的な排出量ゼロを目指すことです。カーボンニュートラル、ゼロカーボンともいいます。
	だっちゃんコイン
	「さどまる倶楽部アプリ」及び「佐渡國だっちゃんアプリ」への登録により、市内登録加盟店で利用できる電子マネー決済サービスです。
	地域おこし協力隊
	<p>地方自治体が、都市部の人材を過疎地域・離島などの新たな担い手として受入れ、地域の充実・強化を図る取組です。</p> <p>外部の人材を活用した地域の活性化について、集落等から提案いただき、都市部の人材を受け入れ、各地域等の提案にあわせて地域協力活動を行っていただく。併せてその定住・定着を図りながら、地域の活性化につなげます。</p> <p>本市では、平成 24 年度より採用し、令和 4 年 1 月現在、16 名が島内各地で活動しています。</p>
	地域包括ケアシステム
	重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制をつくることです。
	地域防災リーダー
	地域における防災対策の指導者として、市と地域を結ぶ役割のことを言います。（平常時には自主防災組織に対し、訓練・研修等で習得した知識・技術を普及し、また災害時には地域住民と協力して、初期消火、救助等を行います。）

な	認知症サポーター
	認知症を正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者で、「認知症サポーターキャラバン事業」における認知症サポーター養成講座を受講・修了した者をいいます。
は	ビジネスコンテスト
	「起業成功率No.1の島」を目指し、ベンチャー企業の誘致や企業・雇用を創出するために開催するコンテストです。佐渡市雇用拡充事業に申請するベンチャー企業を出場要件として、事業の発展性や佐渡市における課題解決ビジネスプランを競います。コンテスト入賞者にはスタートアップに必要な特典を設けています。
	ファミリーサポートセンター
	子育てをお手伝いしてほしい方（依頼会員）と子育てをお手伝いしたい方（提供会員）が会員登録を行い、お互いに助け合う有償ボランティア組織です。提供会員は、援助できる曜日や時間などを登録し、依頼会員は、会員登録をすると子育て援助が受けられます。運営を佐渡市社会福祉協議会に委託しています。
	ベンチャー企業
	新しい技術・ビジネスモデルを中核とした新規事業を興し、急速な成長を目指す新興企業のことを表しています。
	ベンチャー企業
	新しい技術・ビジネスモデルを中核とした新規事業を興し、急速な成長を目指す新興企業のことを表しています。
	放課後児童クラブ
	共働き家庭等で保護者が昼間家庭にいない児童のための、授業終了後における適切な遊び及び生活の場を提供しています。
ま	みどりの食料システム戦略
	農林水産省が2021年5月に発表した戦略です。2050年までに農林水産業のCO ₂ ゼロエミッション化の実現、化学農薬50%削減（リスク換算）、化学肥料30%削減、有機農業の面積を100万ha（全体の25%）に拡大など、食料、農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための目標が掲げられています。

ら	離島留学制度
	島外の小・中学生、高校生が豊かな自然環境や多くの文化・伝統が残る離島で暮らし、島の学校で学習に取り組む制度のこと。
わ	ワーク・ライフ・バランス
	仕事と生活のバランスがとれた状態のことです。仕事は生活を支えるために必要なものであり、やりがいを感じさせてくれるものであります。ワーク・ライフ・バランスとは、仕事もプライベートもどちらも充実させる働き方・生き方のことを意味します。
	若者サポートステーション
	地域若者ステーション（通称サポステ）は、働くことに踏み出したい 15 歳～49 歳までの仕事をしていない方や就学中でない方を対象に「働き出す力」を引き出し、「職場定着するまで」を全面的にバックアップする厚生労働省委託の支援機関です。佐渡市では三條地域若者サポートステーション佐渡サテライトとして開設しています。
B	BMI
	BMI（Body Mass Index）はボディマス指数と呼ばれ、体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数です。
E	EC サイト
	「電子商取引（electronic commerce）」と訳され、インターネット上に開設した商品を販売するウェブサイトを指します。「ネットショップ」などと呼ばれ、PC やスマートフォンを使用してインターネット上で商品を販売することができ、欲しい商品をカートに入れて注文すると購入することができます。
I	ICT
	Information and Communication Technology の略称。人とインターネットをつなぐことで、人と人をもつなぐ技術。
K	KPI
	Key Performance Indicator（重要業績評価指標）の略称です。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標を指します。
M	MaaS
	MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、ICT を活用して交通をクラウド化し、交通交通か否か、またその運営主体に関わらず、自家用車以外の様々な交通手段による移動（Mobility）を、垣根なく 1 つのサービス(Service)として提供する、新たな「移動」の概念です。

P	PDCA
	<p>さまざまな分野において業務改善等で広く活用されている手法であり、計画（Plan）、実施（Do）、検証（Check）、改善（Action）を繰り返し行うことです。</p> <p>佐渡市地方創生総合戦略における PDCA は、以下のとおりです。</p> <p>Plan：数値目標・客観的な指標を設定した効果的な総合戦略を策定します。</p> <p>Do：総合戦略に基づく施策を実施します。</p> <p>Check：数値目標や客観的な指標の達成度を通じて、総合戦略の成果を客観的に検証します。</p> <p>Action：検証結果を踏まえて施策を見直すとともに、必要に応じて、総合戦略を改訂します。。</p>
S	Society5.0
	<p>「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題を両立する、人間中心の社会（Society）」と内閣府の「第5期科学技術基本計画」に定義されています。</p>
	SDGs
	<p>2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。</p>

第2期佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和4年～令和8年度
新潟県佐渡市
〒952-1292 新潟県佐渡市千種 232 番地
電話番号：0259-63-3111（代）
